

パロマカップ
2023年度 第31回 日本クラブユース選手権(U-15)大会 静岡県予選
《 大会 規 定 》

- 1) ルールは、公益財団法人日本サッカー協会競技規則2022/2023に従うものとする。
- 2) 58チームが参加し、1次トーナメント、2次リーグ、決勝トーナメントを行う。
 - ・1次トーナメントは、高円宮杯JFAU-15リーグ静岡の3部と4部の26チームとU-15リーグ不参加の2チームを合わせた28チームを2組に分けて行い、各組上位1チームの計2チームが2次リーグに進む。1次トーナメントでのチームの位置は、3月21日(火祝)までのU-15リーグの順位で決定する。(試合数が少ないチームの試合数に合わせて順位を決定する)
 - ・2次リーグは、高円宮杯JFAU-15リーグ静岡のTOP・1部・2部の30チームと、1次トーナメントを勝ち上がった2チームを合わせた32チームを8組に分けて行い、各組の上位2チーム計16チームが決勝トーナメントに進む。但し、選手登録人数が15人に満たないチームは決勝トーナメントには進めない。上位2チームにそのチームが入った場合は、3位のチームが決勝トーナメントに進むこととする。U-15リーグTOP・1部・2部のいずれのリーグも、4月16日(日)までのリーグ順位により上位からブロック分け位置を決定する。(試合数が少ないチームの試合数に合わせて順位を決定する)
 - ・決勝トーナメントは、2次リーグを勝ち上がった16チームで行い、1位～8位を決定する。
- 3) 競技時間は70分(35-10-35)で、時間内に勝敗が決しない場合、1次トーナメントと決勝トーナメントは延長戦を行わずPK戦を行う。2次リーグは引き分けとし暫定PKを行う。天候や気温など、状況に応じて飲水タイムやクーリングブレイクを設ける。
- 4) 2次リーグの順位は、以下の内容の順番で決定する。
 - ①勝ち点:勝…3点、分…1点、負…0点とし、勝ち点の多い順から上位とする。
 - ②勝ち点と同じ場合は、得失点差の多い方を上位とする。
 - ③得失点差が同じ場合は、総得点の多い方を上位とする。
 - ④総得点も同じ場合は、当該チームの対戦結果にて決定するが、なお同率の場合はPK戦の結果により決定する。
- 5) 選手登録票
選手登録は各試合で25名以内とし、監督以下スタッフは3名以内とする。この他にトレーナー1名のベンチ入りを認める。当日にベンチ入りしない登録選手やスタッフは、必ず氏名を線で消すこと。試合開始30分前までに先発選手11名に○を付け、会場本部に1部、相手チームに1部提出する。
- 6) 選手交代
交代は9名までとする(再入場は不可)。後半は3回までとする。1回に複数人を交代することは可能。ハーフタイムの交代は後半の回数に含めない。※頭部負傷による交代は、この回数には含まれない。
- 6) 警告、退場
 - ・退場を命じられた選手は、本大会の次の1試合に出場できない。
 - ・大会期間中、警告を2回受けた選手は、本大会の次の1試合に出場できない。但し、1次トーナメント、2次リーグでそれぞれ警告が1枚のみの選手は、その警告を次のリーグ及びトーナメントに持ち越さない。(1次トーナメント、2次リーグのそれぞれ最終試合で警告2枚目を受け次の試合が出場停止になる選手、または退場になり出場停止が未消化の選手は、次のリーグ及びトーナメントの試合で出場停止となる)
 - ・退場内容により、その選手の処分を規律委員会で決定する。
- 7) 公認5号ボールを使用する。(各チームにて用意すること)
- 8) チームが棄権または棄権行為が発生の場合は日本サッカー協会の懲罰規程に準ずる。試合開始時刻に遅れた場合はチーム棄権とみなす。但し交通事情により、試合開始1時間前までに会場担当チームへ連絡があった場合はこの限りではない。対応は会場担当、各ブロックの運営担当、運営委員で検討する。
- 9) ユニフォームについて
 - ・公益財団法人日本サッカー協会のユニフォーム規定に準ずる。
 - ・正副2組のユニフォームを用意し、いずれかを着用すること。正と副の2色は明確に異なる色とする。
 - ・ユニフォームの色は事前に両チームで話し合い決定しておき、選手登録票のユニフォームの色に○を付けて提出する。ユニフォームの色と背番号は、選手登録票と必ず一致すること。

- ・胸にチームのマークと番号、背に番号を必ず付けること。
 - ・GKが控えを含め試合続行不可能となった場合、フィールド選手がGKとして出場する際の背番号については、GKのユニフォームを着用することによる不一致が発生しても良いこととする。
- 10) 試合は雨天決行とするが、暴風、大雨、洪水などの警報が発令された場合には、その日の第1試合開始の3間前までに決定する。問い合わせ先は、2次リーグは各ブロックの会場責任者とし、1次トーナメントと決勝トーナメントは大会事務局とする。
また、試合途中でも雷鳴が聞こえたり雷雲が近づく様子がある時は、直ちに近くの建物、自動車、バスの中に入り、安全な空間に避難する。雷活動が止んでも20分以上経過してから屋外に出る。なお、試合続行が困難な場合は、残り試合時間分を後日実施する。
 - 11) 審判は、有資格者が行い(主審は原則として3級以上)、審判服を着用しワッペンをつけること。
 - 12) 選手証と選手登録票の確認を1次トーナメントから各会場本部にて行う。チーム試合開始1時間前を厳守すること。
 - 13) 参加資格の違反、不都合な行為があった場合の処置については、規律委員会にて決定する。
 - 14) ゴール設置は、転倒しないようにしっかりと固定すること。
 - 15) 選手及び指導者は、フェアプレーの精神に基づき試合を遂行すること。大会運営上の規定に違反があった場合には、公益財団法人日本サッカー協会の懲罰規程に準じ、規律委員会にて協議し処分を決定する。
 - 16) 規律委員会は3種規律委員長、クラブ委員長、副委員長、5支部の支部長、審判委員長、総務委員長、会場責任者で構成する。